

CA-Panvallet

サンプルJCL集



2003年7月現在

コンピュータ・アソシエイツ株式会社

本書及び関連するソフトウェアプログラム(以下「本書」といいます。)は、ユーザへの情報提供のみを目的とし、Computer Associates, Inc. (以下"CA")は本書の内容を予告なく変更、撤回することがあります。

お客様は、CAの書面による承諾を受けずに本書に記載されている内容の複写、譲渡、変更、開示、複製を禁じられています。本書は、CAが知的財産権を有する専有の情報であり、アメリカ合衆国及び日本国の著作権法並びに国際条約により保護されています。

準拠法により認められる限り、CAは本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。

また、本書の使用が直接または間接に起因し、営業利益の損失、業務の中断、営業権の喪失、業務情報の損失等いかなる損害が発生しても、CAは使用者または第三者に対し責任を負いません。CAがかかる損害について明示に通告されていた場合も同様とします。

本書及び本書の記述に含まれる製品は、該当するエンドユーザー・ライセンス契約書に従い使用されるものです。

本書の制作者は Computer Associates International, Inc. です。

本書は、48 C.F.R. Section 12.212、48 C.F.R. Section 52.227-19(c)(1)及び(2)、または、DFARS Section 252.227.7013(c)(1)(ii)、または、これらの条項を継承した条項に記述される「制限された権利」のもとで提供されます。

**© 2003 Computer Associates International, Inc., One Computer Associates Plaza, Islandia, New York 11749.
All rights reserved.**

本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴはそれぞれ各社の商標またはサービスマークです。

目次

I 章. PAN#1	5
1. ライブラリーに新規メンバーを追加する。(++ADD)	5
2. 区分データセットのメンバーをライブラリーへ追加する - 1。(拡張機能使用と++ADD).....	6
3. 区分データセットの全メンバーをライブラリーへ追加する - 2。(拡張機能使用と++ADD).....	7
4. 区分データセットのメンバーをライブラリーへ追加する。(++ADD).....	8
5. メンバーにコメントを割り当てる。(++COMMENT)	9
6. 同一ライブラリーでメンバーをコピーする。(++COPY).....	10
7. ライブラリーの全メンバーを PDS にコピーする。(++WRITE WORK).....	11
8. メンバーのレベル番号を変更する。(++LEVEL).....	12
9. メンバー名を変更する。(++RENAME).....	13
10. メンバーの行番号を再割り当てする。(++RESEQ)	14
11. メンバー内容の一部を出力する。(++SELECT).....	15
12. メンバーの STATUS を変更する。(++STATUS).....	16
13. メンバーのユーザーコードを変更または、与える。(++USER).....	17
14. メンバー内容をワークファイルに書き出す。(++WRITE).....	18
15. 特定メンバーを区分データセットにコピーする。(++OPTION,++WRITE).....	19
16. メンバー名が 'AAA' で始まる全メンバーをワークファイルに書き出す。 (++OPTION,++WRITE).....	20
II 章. PAN#2	21
1. プロテクション・ファイル内のメンバーを削除する。(++OPTION,++BYPASS)	21
2. セキュリティ・コードの作成、変更、削除を行う。(++CONTROL).....	22
3. メンバーの削除。(++DELETE)	23
4. ライブラリーのバックアップを作成する。(++DUMP).....	24
5. ライブラリーのディレクトリー一覧を作成する。(++PRINT).....	25
6. ライブラリーメンバーをプロテクション・ファイル内のメンバーで置き換える。(++REPLACE)	26
7. バックアップよりライブラリーを復元する。(++RESTORE).....	27
8. 特定メンバーまたは、指定範囲のメンバーをプロテクション・ファイルに複写する。 (++TRANSFER).....	28
9. 他のライブラリーへメンバーを複写する。(++OPTION,++TRANSFER).....	29
10. ライブラリーのバージョンアップ。(++UPGRADE).....	30
11. メンバーの一括削除。(++USING PGP,++DELETE,++PRINT).....	31
12. ライブラリーに対するユーザー抑止コマンドの確認。(++ATTRIBUTE).....	32

III章. PAN#3	33
1. ライブラリーの FOOTPRINT 情報を取得する。	33
2. ライブラリーの FOOTPRINT 情報をクリアする。	34
IV章. PAN#4	35
1. ライブラリーを作成する。(++CREATE).....	35
2. ライブラリーを作成し、そのライブラリーに対するコマンドの使用を制限する。 (++CREATE,++SUPPRESS)	36
V章. PAN#6	37
1. 構成別のサマリーレポートを作成する。(++ANALYSIS)	37
VI章. PAN#7	38
1. 相互参照レポートの作成。(++CROSSREF).....	38
VII章. PAN#8	39
1. 指定文字列を検索する。(++SCAN)	39
2. 指定文字列を検索後、置き換える。(++SCAN,++REP).....	40

I 章. PAN#1

1. ライブラリーに新規メンバーを追加する。(++ADD)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN  DD DATA, DLM='xx'
++ADD member, lang type, DLM='yy'
//SAMPLE  JCL CLASS=A, MSGCLASS=H, MSGLEVEL=(1, 1)
//STEP1  EXEC PGM=USERPROG
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
yy
xx
/*
//
```

PANDD1 出力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN **DLM='xx'**を指定。

++ADD 保存するメンバー名,言語タイプを指定し、次のラインからデータを入力してください。最終データラインの下に **SYSIN** で指定した **DLM='xx'**の **xx** を指定してください。(xx までを **SYSIN** データとして処理します。)

また、1カラム目に特殊文字(++、+-、-- 等)を入力する場合、**++ADD** のラインにも **DLM='yy'**を指定してください。**DLM='yy'**を指定することにより、**yy** までを **SYSIN** データとして処理することができ、特殊文字を取り扱うことができるようになります。(R14.4の拡張機能)

2. 区分データセットのメンバーをライブラリーへ追加する - 1。(拡張機能使用と++ADD)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//INBPAM DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//INBSAM DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++USING PANO
++ADD member, lang type, LIST
/*
//
```

PANDD1 出力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。

INBPAM 入力元 **PDS** ライブラリー。

INBSAM 入力元 **PDS** ライブラリー。

SYSIN ++**USING PANO** を指定。
 ++**ADD** 保存するメンバー名,言語タイプを指定。

3. 区分データセットの全メンバーをライブラリーへ追加する - 2。(拡張機能使用と++ADD)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//INBPAM  DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//INBSAM  DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++USING PANO
++ADD *, lang type
/*
//
```

PANDD1 出力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。
INBPAM 入力元 **PDS** ライブラリー。
INBSAM 入力元 **PDS** ライブラリー。
SYSIN ++**USING PANO** を指定。
 ++**ADD ***,言語タイプを指定。

4. 区分データセットのメンバーをライブラリーへ追加する。(++ADD)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PDSIN DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++OPTION INPUT, PDSIN
++ADD member, lang type, LIST
++ADD member, lang type, LIST
/*
//
```

PANDD1 出力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PDSIN 入力元 **PDS** データセット。

SYSIN ++OPTION INPUT,入力元 **PDS** データセットを定義した **DD** 名を指定。

++ADD 保存するメンバー名,言語タイプを指定。

5. メンバーにコメントを割り当てる。(++COMMENT)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++COMMENT member, 'xxxxxxxxxxxxxxxxx'
/*
//
```

PANDD1 出力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++COMMENT 更新するメンバー名, '50 文字以内のコメント' を指定。

6. 同一ライブラリーでメンバーをコピーする。(++COPY)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++COPY name-1, name-2
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++COPY コピー元メンバー名,コピー先メンバー名を指定。

7. ライブラリーの全メンバーを PDS にコピーする。(++WRITE WORK)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2  DD SYSOUT=*
//PDSOUT  DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++OPTION OUTPUT, PDSOUT
++WRITE WORK, *
/*
//
```

PANDD1 入力先 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PDSOPT 出力先 **PDS** データセット。

SYSIN ++**OPTION OUTPUT**, コピー先 **PDS** データセットを指定した **DD** 名。

++**WRITE WORK**, *(全メンバーを意味する)を指定。

8. メンバーのレベル番号を変更する。(++LEVEL)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++LEVEL name, level-1, level-2
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++LEVEL レベル番号を変更するメンバー名,現在のレベル番号,変更するレベル番号(1~255)を指定。

9. メンバー名を変更する。(++RENAME)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++RENAME name-1, name-2
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++RENAME 変更前のメンバー名,変更後のメンバー名を指定。

10. メンバーの行番号を再割り当てる。(++RESEQ)

```
//PANVALET JOB type your jobcard
//STEP1 EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++RESEQ name, beginning column, length, start count, interval
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++RESEQ 行番号を再割り当てるメンバー名,開始カラム,シーケンス番号の桁数,初期値,増分値を指定。

1 1. メンバー内容の一部を出力する。(++SELECT)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++SELECT xxxxxx, name, level, start row, end row
/*
//
```

PANDD1 入出力 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++SELECT xxxxxx,出力するメンバー名,レベル番号,出力開始行番号,出力終了行番号を指定。xxxxxx(出力先)は、以下より選択。

PRINT . . . **SYSPRINT** へ出力。

PUNCH . . . **SYPUNCH** へ出力。

WORK . . . **WORK** ファイル(PANDD2)へ出力。

1 2. メンバーの STATUS を変更する。(++STATUS)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++STATUS name, xxxxxxxx
/*
//
```

PANDD1 入力元 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++STATUS ステータスを変更するメンバー名,xxxxxxx(ステータス)を指定。
xxxxxxx(ステータス)は、以下より選択。

ACTIVE . . . 頻繁に使用されるメンバー。

INACTIVE . . . 頻繁に使用されず、削除もできないメンバー。

ENABLE . . . 一度、削除可能メンバーにしたが、やはり削除できない
メンバー。

DISABLE . . . 削除可能メンバー。

PROD . . . 本番用メンバー。

TEST . . . テストメンバー。

1 3. メンバーのユーザーコードを変更または、与える。(++USER)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++USER name, user code-1, user code-2
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++USER ユーザーコードを変更するメンバー名,現在のユーザーコード,新しいユーザーコードを指定。

1 4. メンバー内容をワークファイルに書き出す。(++WRITE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPUNCH DD SYSOUT=*
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2  DD DSN=your temporary dataset, DISP=(, CATLG), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, SPACE=(TRK, (15, 5), RLSE)
//SYSIN   DD *
++WRITE xxxxxx, name
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PANDD2 出力先 **PDS** データセット。

SYSIN ++**WRITE xxxxxx**,出力するメンバー名を指定。**xxxxxx**(出力先)は、以下より
選択。

PRINT . . . **SYSPRINT** へ出力。

PUNCH . . . **SYSPUNCH** へ出力。

WORK . . . **WORK** ファイル(**PANDD2**)へ出力。

15. 特定メンバーを区分データセットにコピーする。(++OPTION,++WRITE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PDSOUT  DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++OPTION OUTPUT, PDSOUT
++WRITE WORK, name
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PANDD2 出力先 **PDS** データセット。

SYSIN ++OPTION OUTPUT,DD(出力先)名を指定。
++WRITE WORK,出力するメンバー名を指定。

16. メンバー名が 'AAA' で始まる全メンバーをワークファイルに書き出す。
(++OPTION,++WRITE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#1
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PDSOUT  DD DSN=your pds library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++OPTION OUTPUT, PDSOUT
++WRITE WORK, PREFIX=AAA
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PDSOUT 出力先 **PDS** データセット。

SYSIN ++OPTION OUTPUT,DD(出力先)名を指定。

++WRITE WORK,PREFIX=AAA(出力するメンバー名)を指定。

II 章. PAN#2

1. プロテクション・ファイル内のメンバーを削除する。(++OPTION,++BYPASS)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2  DD DSN=your new protection file, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, SPACE=(TRK, (n, n))
//PANDD3  DD DSN=your old protection file, DISP=(SHR, KEEP), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME
//SYSIN   DD *
++OPTION INPUT
++BYPASS  name-1, name-2
/*
//
```

PANDD1 入力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PANDD2 出力プロテクション・ファイル。

PANDD3 入力プロテクション・ファイル。

SYSIN ++**OPTION INPUT** を指定。

++**BYPASS** プロテクション・ファイル内の最初の削除メンバー名, プロ
テクション・ファイル内の最後の削除メンバー名を指定。

2. セキュリティー・コードの作成、変更、削除を行う。(++CONTROL)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++CONTROL code-1, code-2
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++CONTROL セキュリティー・コードとライブラリーセキュリティ・コードの合計値,新しいライブラリーセキュリティ・コードを指定。

セキュリティ・コードとライブラリーセキュリティ・コードの合計値：

‘0’ は、セキュリティ・コードとライブラリーセキュリティ・コードが伴に ‘0’ の時に指定。

新しいライブラリーセキュリティ・コード：

‘0’ から ‘32767’ までの値を指定。‘0’ は、既存のライブラリーセキュリティ・コードを削除する。

3. メンバーの削除。(++DELETE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2 DD DSN=your protection file, DISP=(, CATLG), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, SPACE=(TRK, (n, n))
//SYSIN DD *
++DELETE NAME=xxxxxxx
/*
//
```

PANDD1 入力 CA-Panvalet ライブラリー。

PANDD2 出力プロテクション・ファイル。

SYSIN ++DELETE xxxxxxx(ステータスまたは、メンバー名)を指定。xxxxxx は、以下より選択。

NAME=name1,name2 . . . **name1** を指定した場合、特定メンバーをプロテクション・ファイルへ移動。**name1** と **name2** を指定した場合、**name1** から **name2** までをプロテクション・ファイルへ移動。

DISABLE . . . **DISABLE** のメンバーをプロテクション・ファイルへ移動。

INACTIVE . . . **INACTIVE** のメンバーをプロテクション・ファイルへ移動。

4. ライブラリーのバックアップを作成する。(++DUMP)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2 DD DSN=your protection file, DISP=(, KEEP), UNIT=TAPE,
//      VOL=SER=VOLUME, LABEL=(1, SL)
//SYSIN DD *
++DUMP
/*
//
```

PANDD1 入力 **CA-Panvalet** ライブラリー。
PANDD2 出力用プロテクション・ファイル。
SYSIN ++DUMP を指定。

5. ライブラリーのディレクトリ一覧を作成する。(++PRINT)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++PRINT 1-UP
/*
//
```

PANDD1 入力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++PRINT **x-UP** を指定。x (リストの種類) は、以下より選択。
0-UP, 1-UP, 2-UP, 3-UP, 8-UP, AUDIT, SUBSET, LRECL,
FGPAN23, PCOPTION.

6. ライブラリーメンバーをプロテクション・ファイル内のメンバーで置き換える。(++REPLACE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD3 DD DSN=your protection file, DISP=(SHR, KEEP), UNIT=TAPE,
//        VOL=SER=VOLUME, LABEL=(1, SL)
//SYSIN DD *
++REPLACE name1, name2, version
/*
//
```

PANDD1 出力 CA-Panvalet ライブラリー。

PANDD3 入力用プロテクション・ファイル。

SYSIN ++REPLACE 置き換え開始メンバー,置き換え終了メンバーを指定。

name1 だけを指定した場合、特定メンバーだけをプロテクション・ファイルのメンバーで置き換え。

name1 と **name2** を指定した場合、**name1** から **name2** までをプロテクション・ファイルのメンバーで置き換え。

7. バックアップよりライブラリーを復元する。(++RESTORE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD3  DD DSN=your protection file, DISP=(SHR, KEEP), UNIT=TAPE,
//          VOL=SER=VOLUME, LABEL=(1, SL)
//SYSIN   DD *
++RESTORE name1, name2 , version
/*
//
```

PANDD1 出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PANDD3 入力用プロテクション・ファイル。

SYSIN ++RESTORE リストア元メンバー名, リストア先メンバー名, バージョンを指定。

8. 特定メンバーまたは、指定範囲のメンバーをプロテクション・ファイルに複写する。

(++TRANSFER)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2 DD DSN=your protection file, DISP=(, KEEP), UNIT=TAPE,
//          VOL=SER=VOLUME, LABEL=(1, SL)
//SYSIN DD *
++TRANSFER name1, name2
/*
//
```

PANDD1 入力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

PANDD2 出力用プロテクション・ファイル。

SYSIN ++TRANSFER 複写開始メンバー,複写終了メンバーを指定。

name1 だけを指定した場合、特定メンバーをプロテクション・ファイルへ複写。

name1 と **name2** を指定した場合、**name1** から **name2** までをプロテクション・ファイルへ複写。

9. 他のライブラリーへメンバーを複写する。(++OPTION,++TRANSFER)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library in, DISP=SHR
//PANDD2  DD DSN=your panvalet library out, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++OPTION OUTPUT
++TRANSFER name1, name2
/*
//
```

PANDD1 入力 CA-Panvalet ライブラリー。

PANDD2 出力 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++OPTION OUTPUT を指定。

++TRANSFER 複写開始メンバー,複写終了メンバーを指定。

name1 だけを指定した場合、特定メンバーを他のライブラリーへ複写。

name1 と **name2** を指定した場合、**name1** から **name2** までを他のライブラリーへ複写。

10. ライブラリーのバージョンアップ。(++UPGRADE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++UPGRADE
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++UPGRADE を指定。

1 1. メンバーの一括削除。(++USING PGP,+DELETE,++PRINT)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSPUNCH DD DSN=your temporary dataset 1, DISP=(, PASS), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, SPACE=(TRK, (5, 1)),
//          DCB=(RECFM=FB, LRECL=80, BLKSIZE=3200)
//SYSIN   DD *
++USING PGP
+-DELETE NAME=
++PRINT 0-UP
/*
//STEP2  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PANDD2  DD DSN=your temporary dataset 2, DISP=(, KEEP), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, SPACE=(TRK, (5, 1)),
//          DCB=(RECFM=FB, LRECL=80, BLKSIZE=3200)
//SYSIN   DD DSN=your temporary dataset 1, DISP=(OLD, DELETE)
//
```

STEP1 : パンバレット・グループ・プロセッサ(PGP)を使用して削除カードを作成する。

STEP2 : **STEP1** で作成された削除カードを実行する。

STEP01

PANDD1 入出力 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSPUNCH テンポラリーPS データセット(**STEP02** で使用する **SYSIN** データ)を指定。

SYSIN ++USING PGP を指定。

+DELETE NAME=

STEP02

PANDD1 入力 CA-Panvalet ライブラリー。

PANDD2 出力データセット

SYSIN **STEP01** で作成した **SYSIN** データ(テンポラリーPS データセット)を指定。

1 2. ライブラリーに対するユーザー抑止コマンドの確認。(++ATTRIBUTE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#2
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++ATTRIBUTE
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++**UPGRADE** を指定。

III 章. PAN#3

1. ライブラリーの FOOTPRINT 情報を取得する。

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP01  EXEC PGM=PAN#3
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++DSN xxxxxx. xxxxxx. xxxxxx
/*
//
```

PANDD1 ターゲット CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++DSN ターゲット CA-Panvalet ライブラリー名を指定。

実行後、以下のように情報が出力されます。

CURRENT LIBRARY FOOTPRINT = X'abcd' が FOOTPRINT 情報です。

(略)

```
++DSN xxxxxx. xxxxxx. xxxxxx
***** FOOTPRINT OPTION IS FTP=NO *****
***** CURRENT LIBRARY FOOTPRINT = X'abcd' *****
***** ABOVE ACTION SATISFACTORILY COMPLETED *****
```

2. ライブラリーの FOOTPRINT 情報をクリアする。

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP01 EXEC PGM=PAN#3
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN DD *
++DSN xxxxxx. xxxxxx. xxxxxx
++REP VER=abcd
/*
//
```

PANDD1 ターゲット **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++DSN ターゲット **CA-Panvalet** ライブラリー名を指定。

++REP VER=abcd を指定。

IV章. PAN#4

1. ライブラリーを作成する。(++CREATE)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#4
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=(, CATLG), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, DCB=DSORG=DA, SPACE=(CYL, 2)
//SYSIN   DD *
++CLEAR
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++**CLEAR** を指定。

2. ライブラリーを作成し、そのライブラリーに対するコマンドの使用を制限する。
(++CREATE,++SUPPRESS)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#4
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=(, CATLG), UNIT=SYSDA,
//          VOL=SER=VOLUME, DCB=DSORG=DA, SPACE=(CYL, 2)
//SYSIN DD *
++CLEAR
++SUPPRESS ++LEVEL
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++CLEAR を指定。

++SUPPRESS 制限を行うコマンドを指定。

V 章. PAN#6

1. 構成別のサマリーレポートを作成する。(++ANALYSIS)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#6
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++ANALYSIS
/*
//
```

PANDD1 入力 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++ANALYSIS を指定。

++ANALYSIS **x** でサマリーレポートの種類を選択できます。**x** は、以下より選択。

- 1 メンバータイプ別のライブラリー構成の分析。
- 2 メンバータイプとステータス別のライブラリー構成の分析。
- 3 ユーザーコード別のライブラリー構成の分析。
- 4 ステータスとアクティビティ別のライブラリー構成の分析

VI章. PAN#7

1. 相互参照レポートの作成。(++CROSSREF)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#7
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSOUT DD SYSOUT=*
//PANDD1 DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//PAN7WK01 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL, (10, 10))
//PAN7WK02 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL, (10, 10))
//PAN7WK03 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL, (10, 10))
//PAN7WK04 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL, (10, 10))
//SYSIN DD *
++CROSSREF
/*
//
```

PANDD1 入力 CA-Panvalet ライブラリー。

SYSIN ++CROSSREF を指定。

VII章. PAN#8

1. 指定文字列を検索する。(++SCAN)

```
//PANVALET JOB  type your jobcard
//STEP1  EXEC PGM=PAN#8, PARM=(' OPEN=INP' )
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++SCAN *COBOL, 'COPY'
/*
//
```

PANDD1 入力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++SCAN *言語タイプ, '検索文字列' を指定。

2. 指定文字列を検索後、置き換える。(++SCAN,++REP)

```
//PANVALET JOB   type your jobcard
//STEP1   EXEC PGM=PAN#8
//STEPLIB DD DSN=your panvalet loadlibrary, DISP=SHR
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//PANDD1  DD DSN=your panvalet library, DISP=SHR
//SYSIN   DD *
++SCAN *COBOL
++REP /MARUKAWA/TSUDA/
/*
//
```

PANDD1 入出力 **CA-Panvalet** ライブラリー。

SYSIN ++SCAN *言語タイプを指定。

++REP /検索文字列/置き換え文字列/を指定。

以上